

令和5年度 南房総市男女共同参画市民意識調査結果（簡易版）

I 調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、南房総市における男女共同参画施策を推進する上での基礎資料とするために、5年に一度、男女共同参画計画の見直しの年に実施し、当市の男女共同参画の意識、実態について把握し、その問題点を解析し、課題を明確にすることを目的とする。

2 調査内容

(1) 男女共同参画全般、(2) 家庭生活・結婚、(3) 働き方、(4) 女性に対する人権問題、(5) 教育、(6) 防災・災害復興対策、(7) 少子・高齢化、(8) 社会活動等への参画、(9) 南房総市の施策、(10) 自由記述

3 調査設計

- (1) 調査地域 南房総市全域
- (2) 調査対象 南房総市在住の満18歳以上の男女 1,000人
- (3) 標本抽出法 住民基本台帳（令和5年3月1日現在）に基づく層化無作為抽出法
- (4) 調査方法 郵送による配付回収及びWeb回答
- (5) 調査期間 令和5年3月7日～3月24日

4 回収結果

有効回答数 357件（35.7%）

5 調査結果の見方

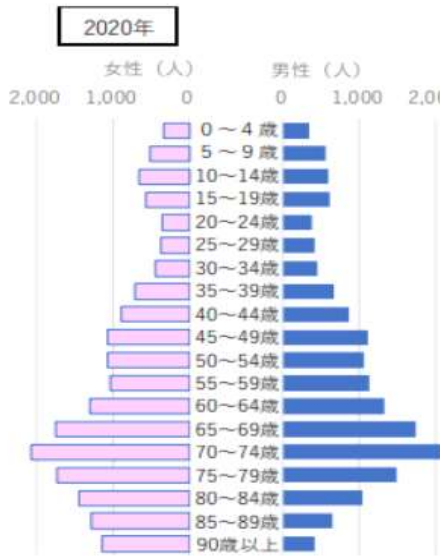
- (1) 結果はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、数値の合計が100%にならないことや個々の比率の合計とその小計の数値が一致しないことがある。
- (2) 数値やグラフ中の（ ）内の数値は回答者総数（又は、分類別の該当者数）を示し、回答比率は、これを100%として算出した。
- (3) 1人の対象者に2つ以上の回答を認めた設問では、百分率（%）の合計は、100%を超える場合がある。
- (4) 分析の軸（縦軸）としたプロフィールや設問は、無回答を除いている場合もあるため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用しているところもある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

II 調査の結果

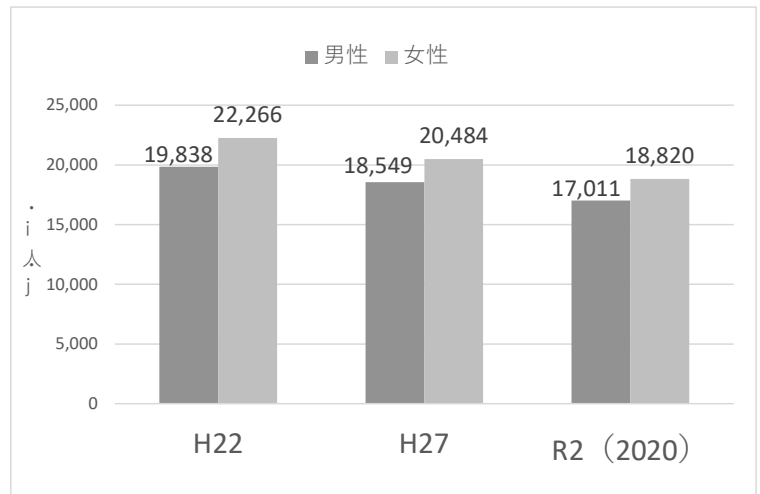
（前提）南房総市の現状（南房総市人口ビジョンから）

2020年国勢調査によれば、本市の総人口は35,831人と平成27年調査と比較して3,000人以上の減となり、人口減少に歯止めがかかったとは言い難い状況。また、高齢化率が47.2%に達する一方で年間の出生者数は100人を割り込むなど、少子高齢化が著しく進んでいる。

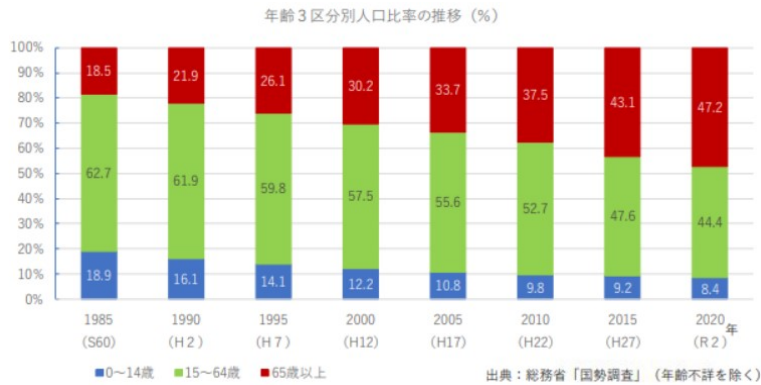
① 年齢構成（国勢調査）



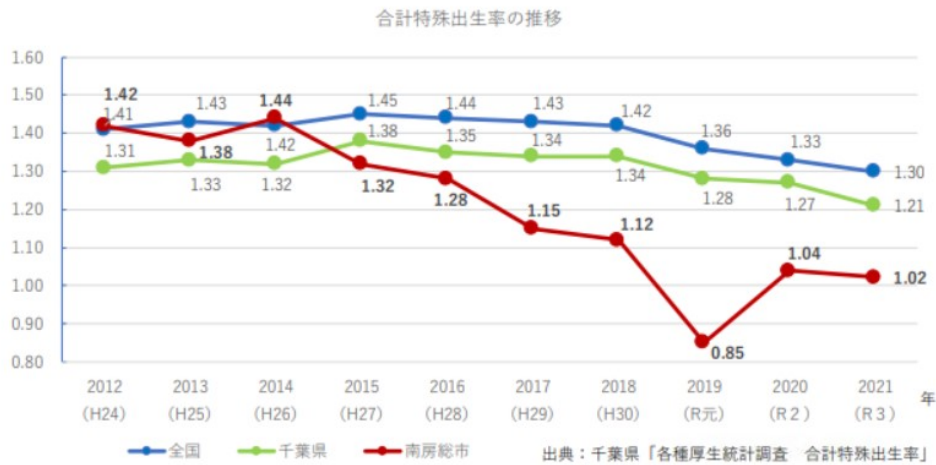
② 男女別人口推移（国勢調査）



③ 年齢構成別人口推移（国勢調査）



④ 合計特殊出生率の推移（千葉県）

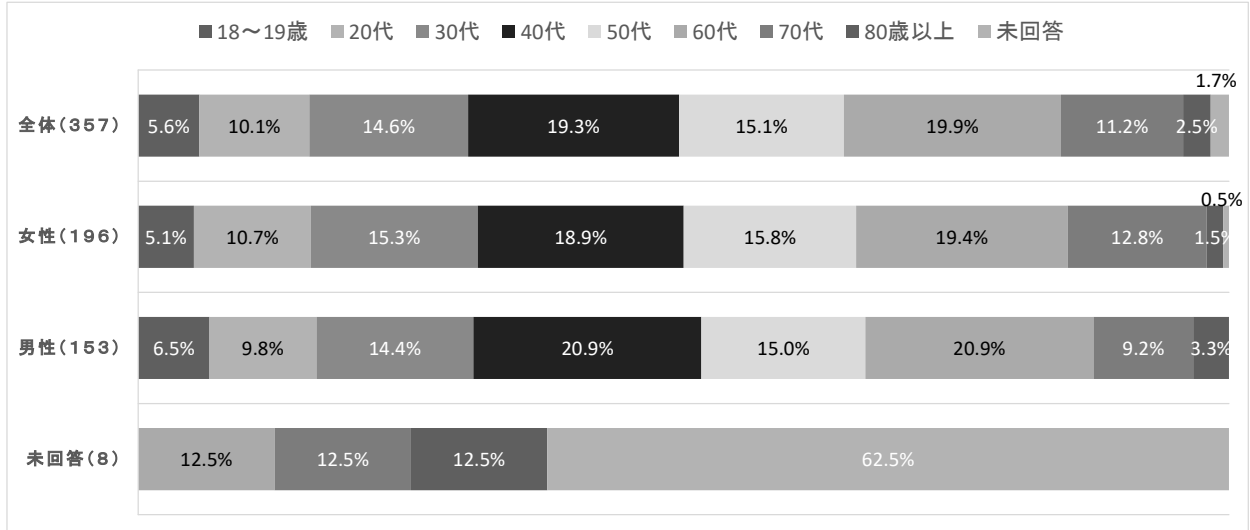


1. 回答者のプロフィール

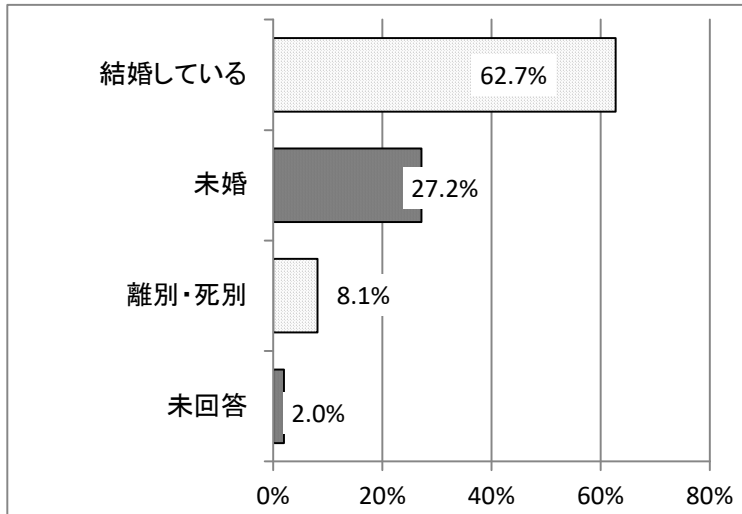
(1) 性別

男 153名 (42.9%)、女 196名 (54.9%)、無回答 8名 (2.2%)

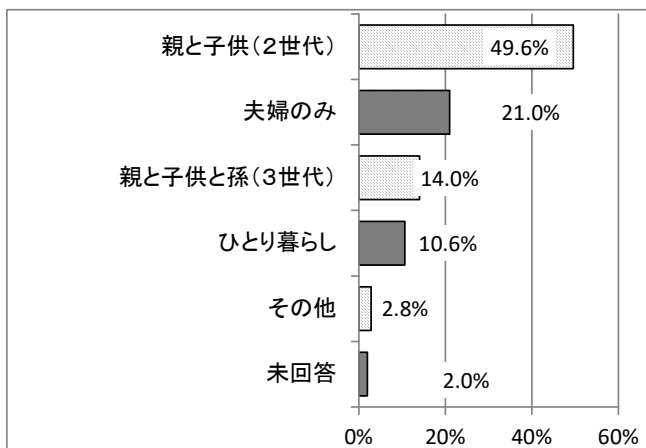
(2) 年齢構成



(3) 既婚・未婚等の割合



(4) 世帯構成



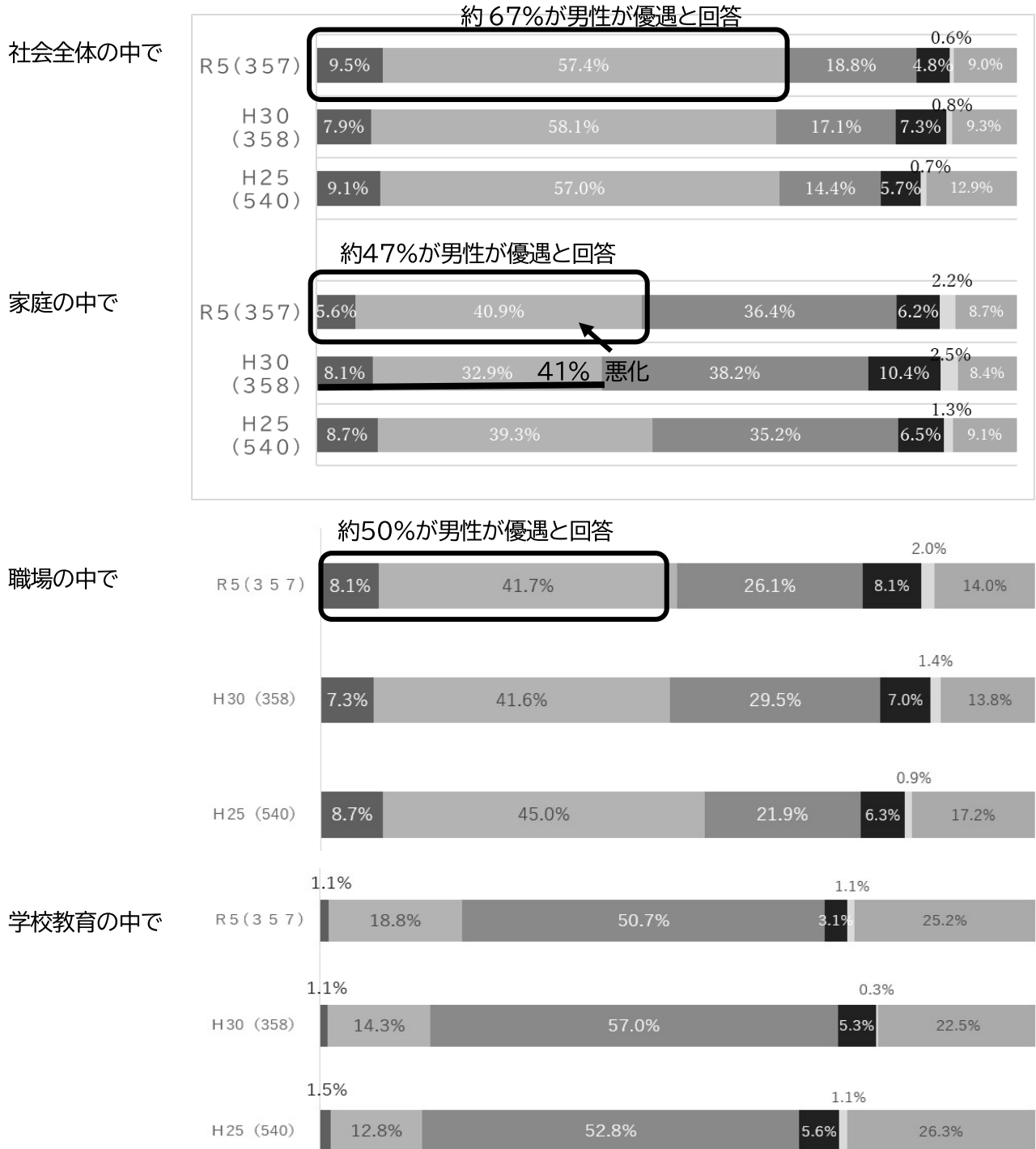
2. H25・H30との比較

同様の調査を実施したH25、H30の結果と経年比較しました。

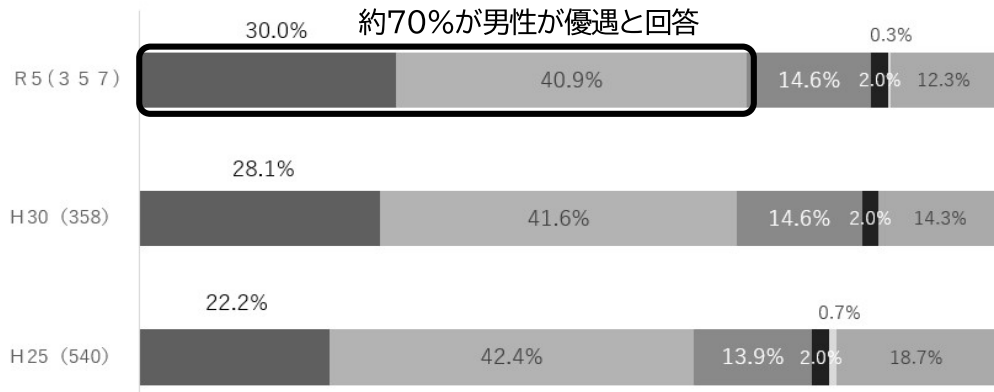
■ 男女共同参画全般について

問1. あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次について、あなたの考えに最も近いものをひとつずつ選んで、番号に○をつけてください。

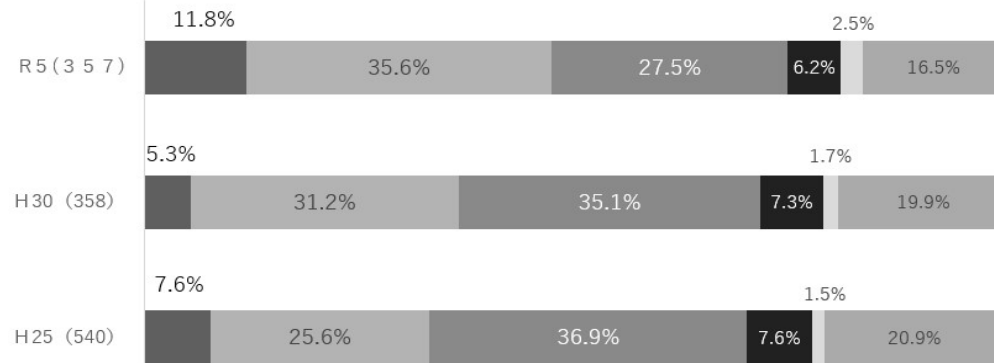
- 男性が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が非常に優遇されている
- その他(わからない、無回答)



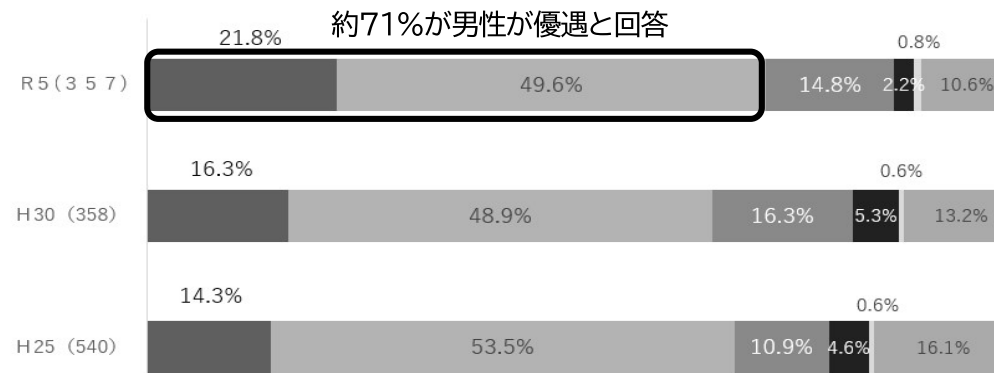
政治の場で



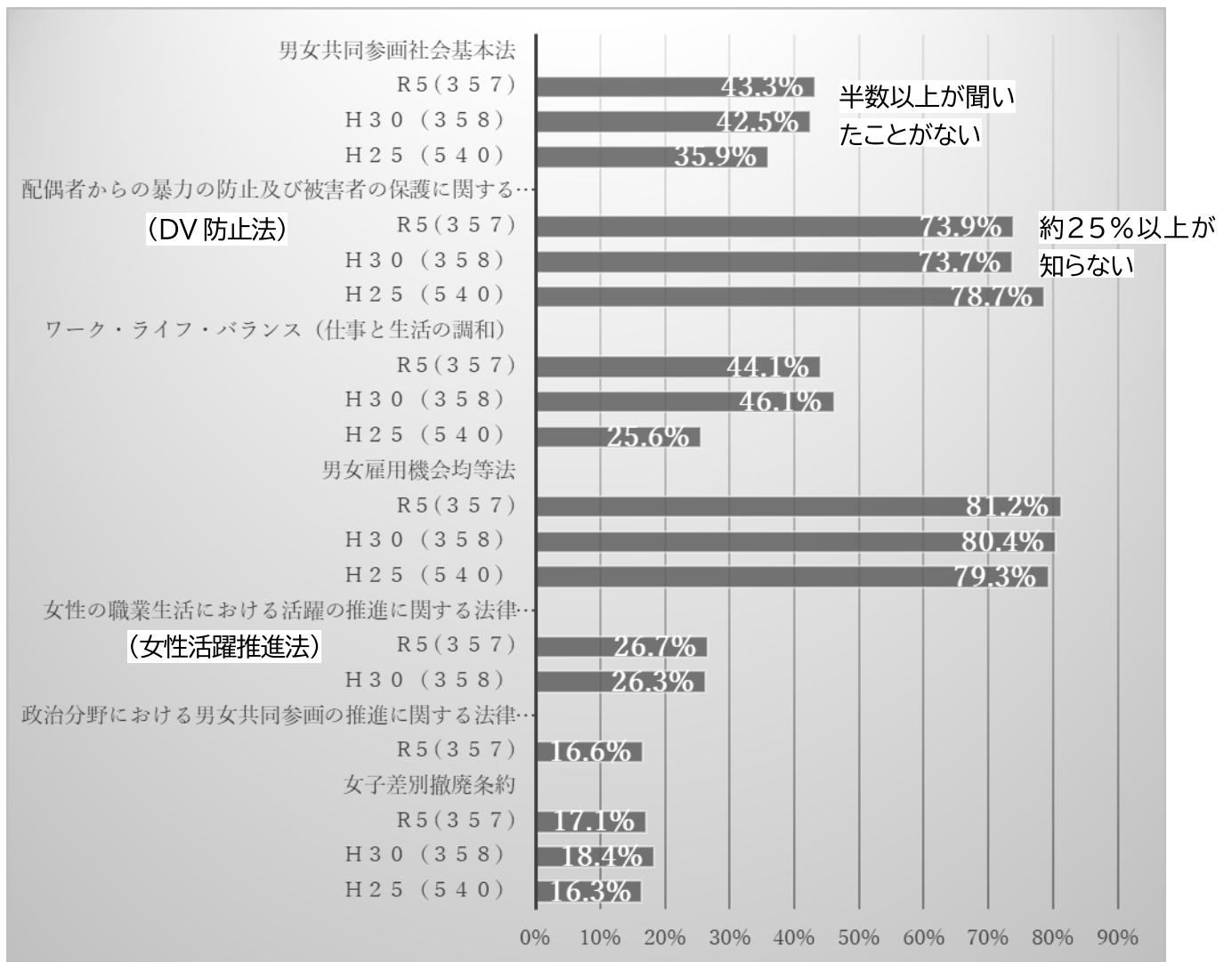
法律や制度の上で

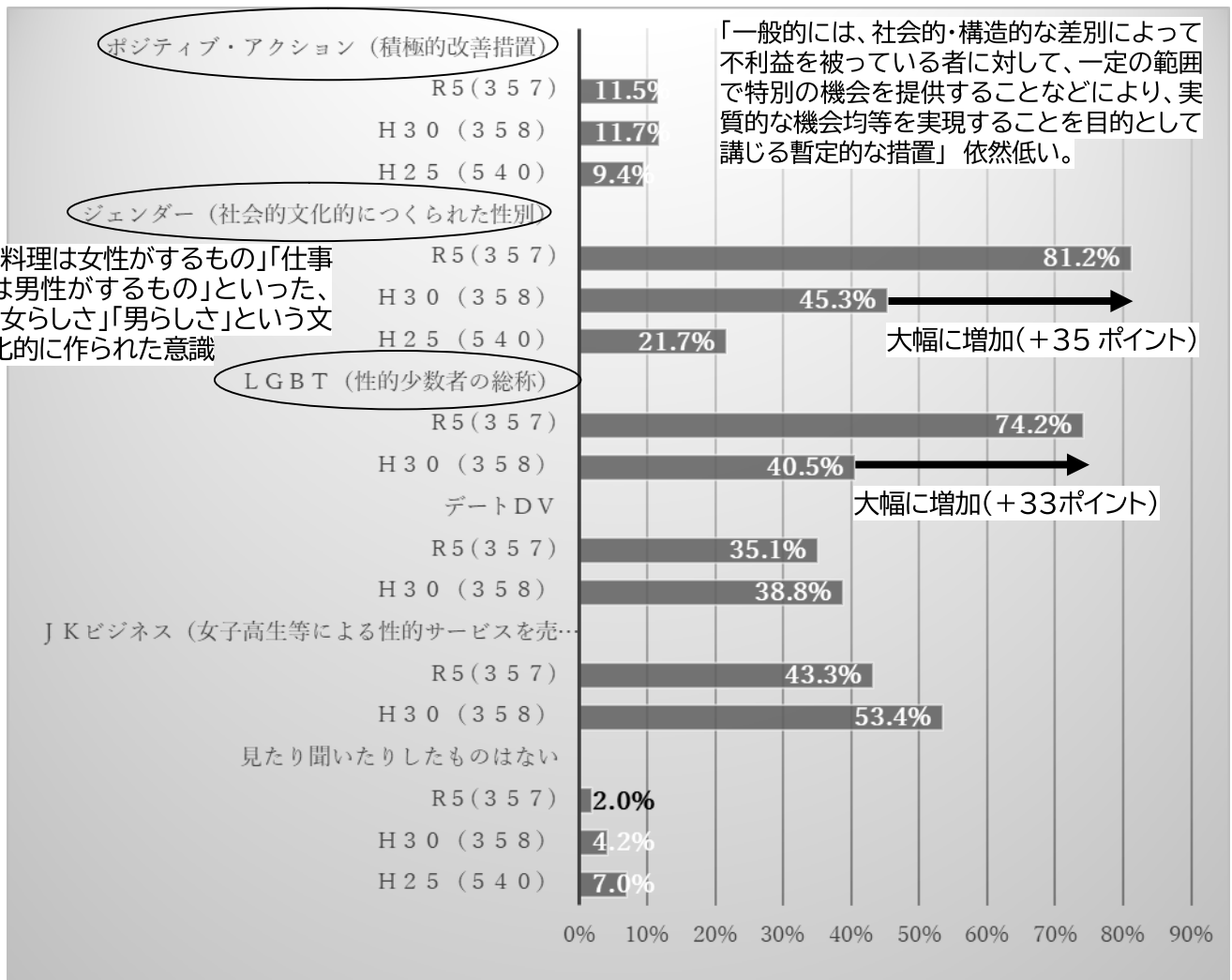


社会通念・慣習で



問2. 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。





■家庭についておたずねします。

問5. ※現在結婚（事実婚含む）している方のみお答えください。

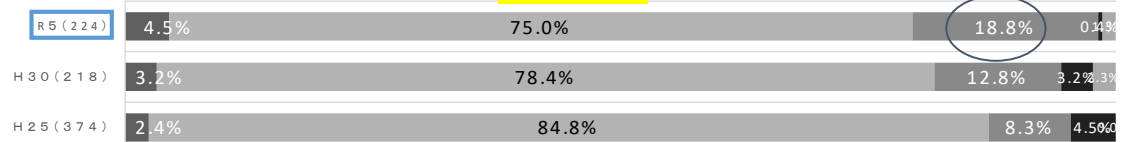
あなたのご家庭では、現在、家事などの日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。また、あなたは、どのような仕事の分担が理想的だと考えますか。

- 主に夫が行っている
- 主に妻が行っている
- 夫婦とも同じくらいで行っている
- 無回答
- 主にその他の人が行っている
- 子どもや高齢者はいない

<現実の家事分担>

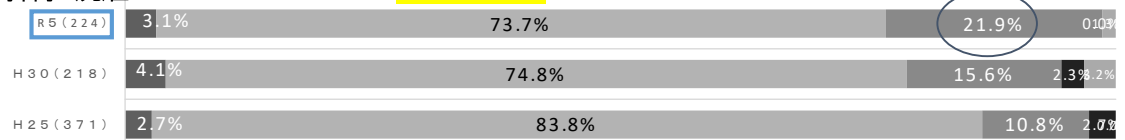
◆食事の支度・あとかたづけ

「妻が主体」



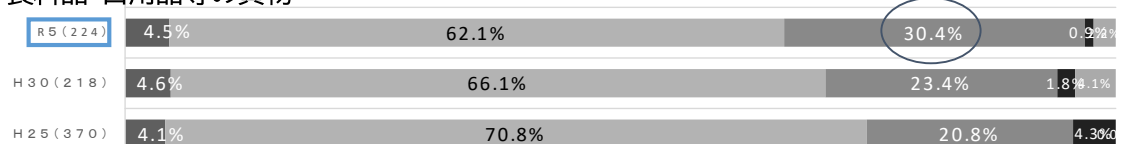
◆掃除・洗濯

「妻が主体」

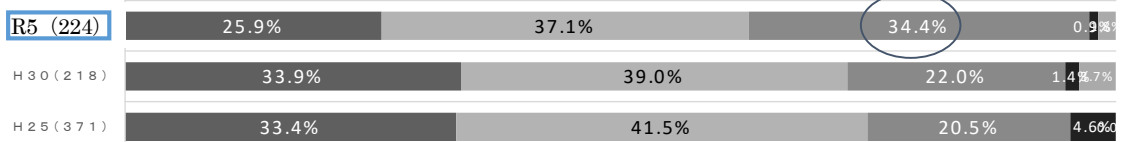


◆食料品・日用品等の買物

「妻が主体」

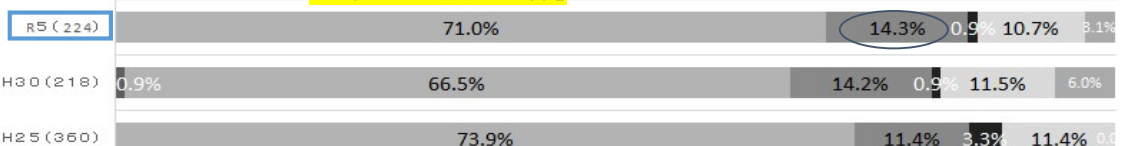


◆役所等への用事・書類の作成

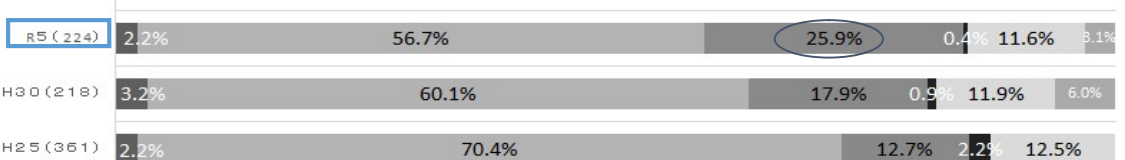


◆乳児・幼児の世話

子育ては「妻が主体」



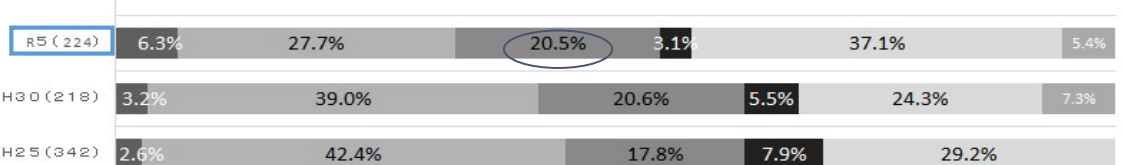
◆子どもの学校行事への参加



◆子どもの送迎、勉強や遊びの世話



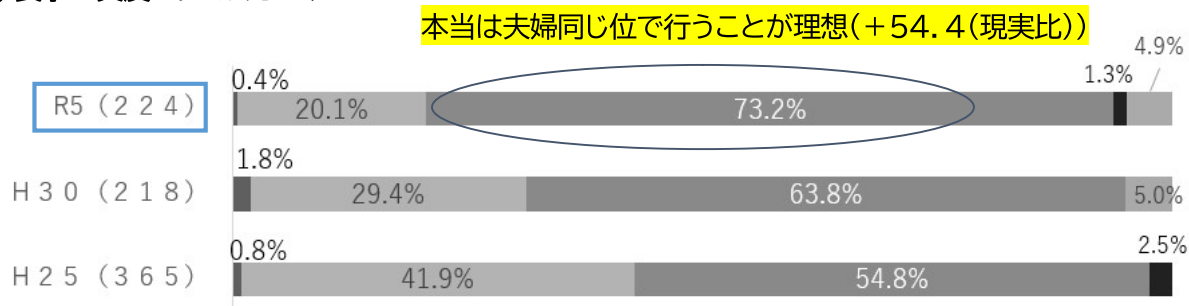
◆高齢者の世話



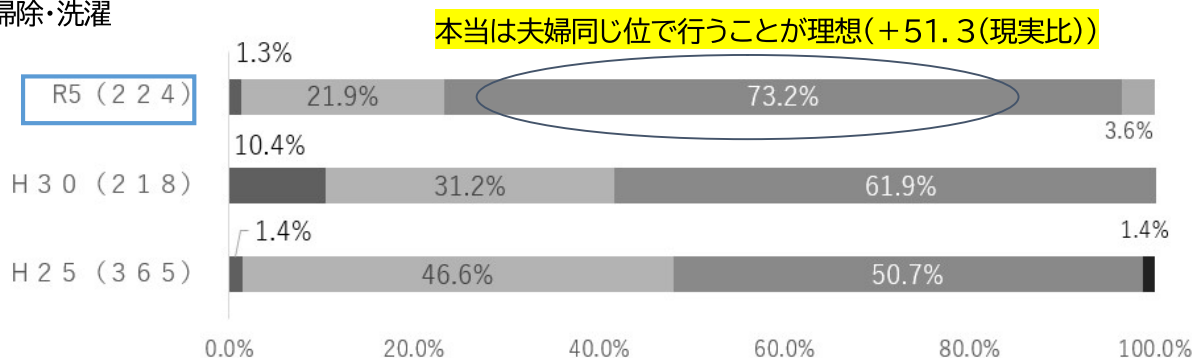
<理想の家事分担>

- 主に夫が行っている
- 主に妻が行っている
- 夫婦とも同じくらいで行っている
- 主にその他の人が行っている
- 子どもや高齢者はいない
- 無回答

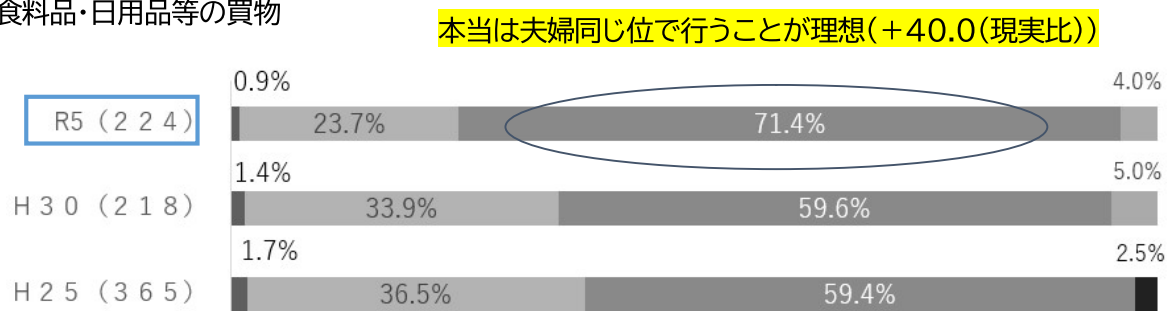
◆食事の支度・あとかたづけ



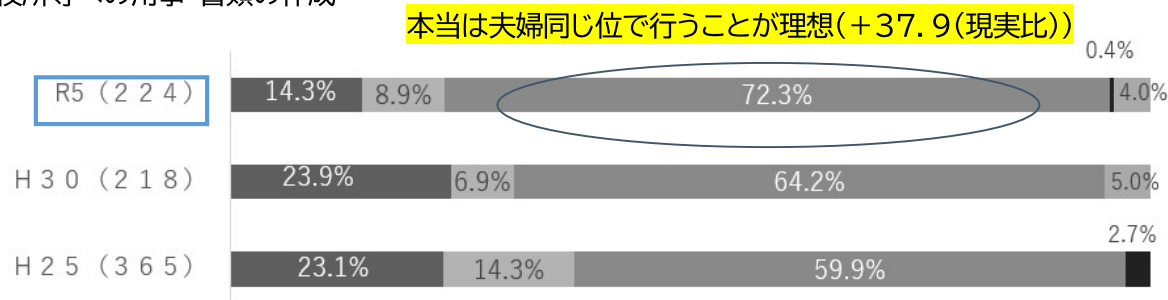
◆掃除・洗濯



◆食料品・日用品等の買物

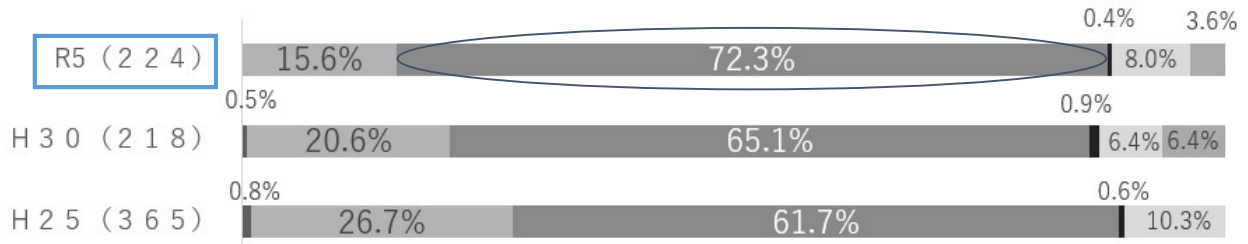


◆役所等への用事・書類の作成



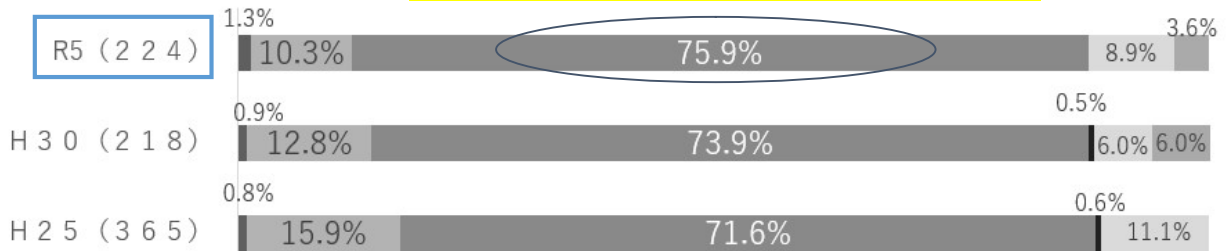
◆ 乳児・幼児の世話

本当は夫婦同じ位で行うことが理想(+58.0(現実比))



◆ 子どもの学校行事への参加

本当は夫婦同じ位で行うことが理想(+50(現実比))



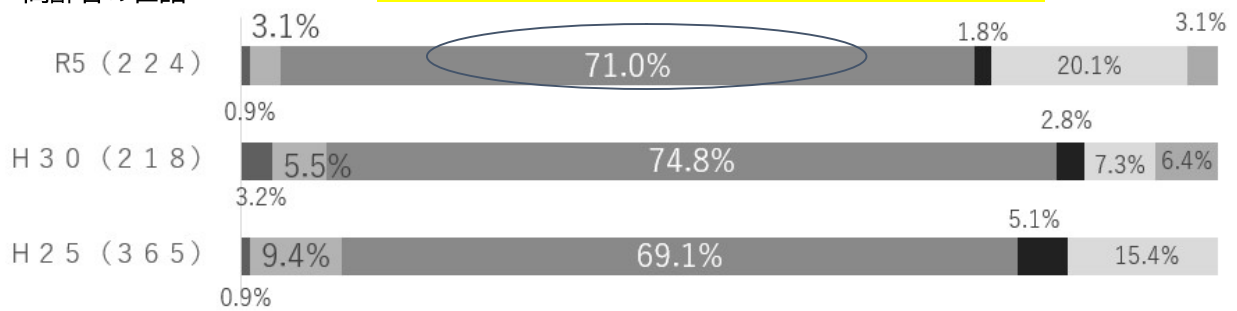
◆ 子どもの送迎、勉強や遊びの世話

本当は夫婦同じ位で行うことが理想(+45.5(現実比))



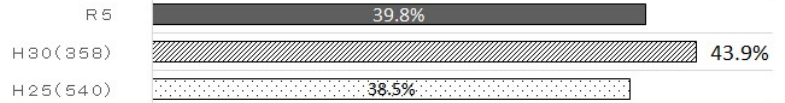
◆ 高齢者の世話

本当は夫婦同じ位で行うことが理想(+50.5(現実比))

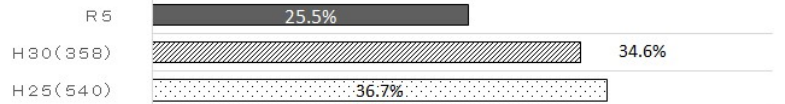


問6. 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためにはどのような環境整備が必要だと思いますか。次の中から三つ選んで、番号に○をつけてください。

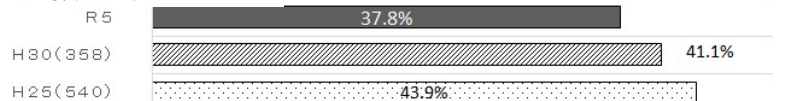
3位 育児・介護休業制度の充実



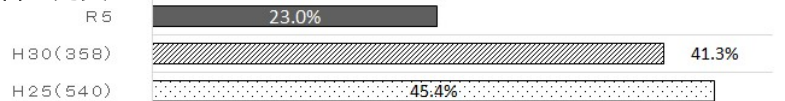
管理職の意識、代替要員の確保など職場環境の整備



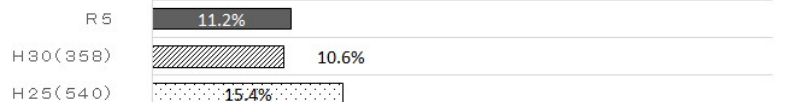
4位 育児・介護休業中の賃金手当などの経済的支援を充実すること



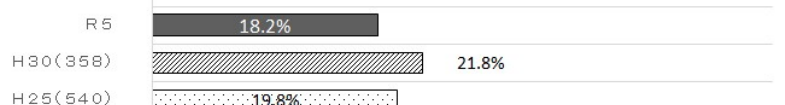
地域や職場内の保育所、学童保育の保育内容の充実



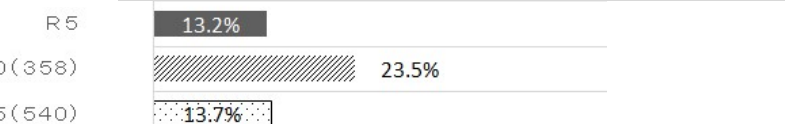
病児保育の充実



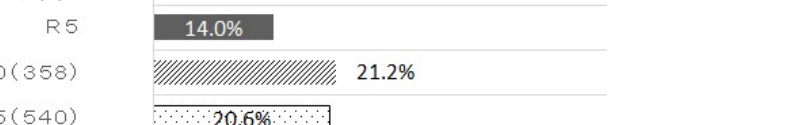
在宅勤務やフレックス制度など柔軟な勤務制度導入



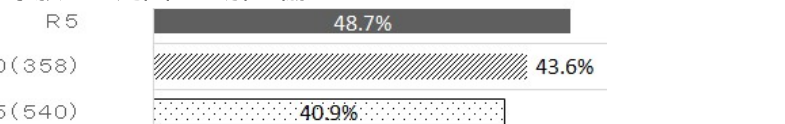
残業を減らすなど、年間労働時間の短縮



パートタイマーなど非正規職員の労働条件の改善



1位 男女が共に仕事と家庭を両立することを家族など周囲の理解と協力があること

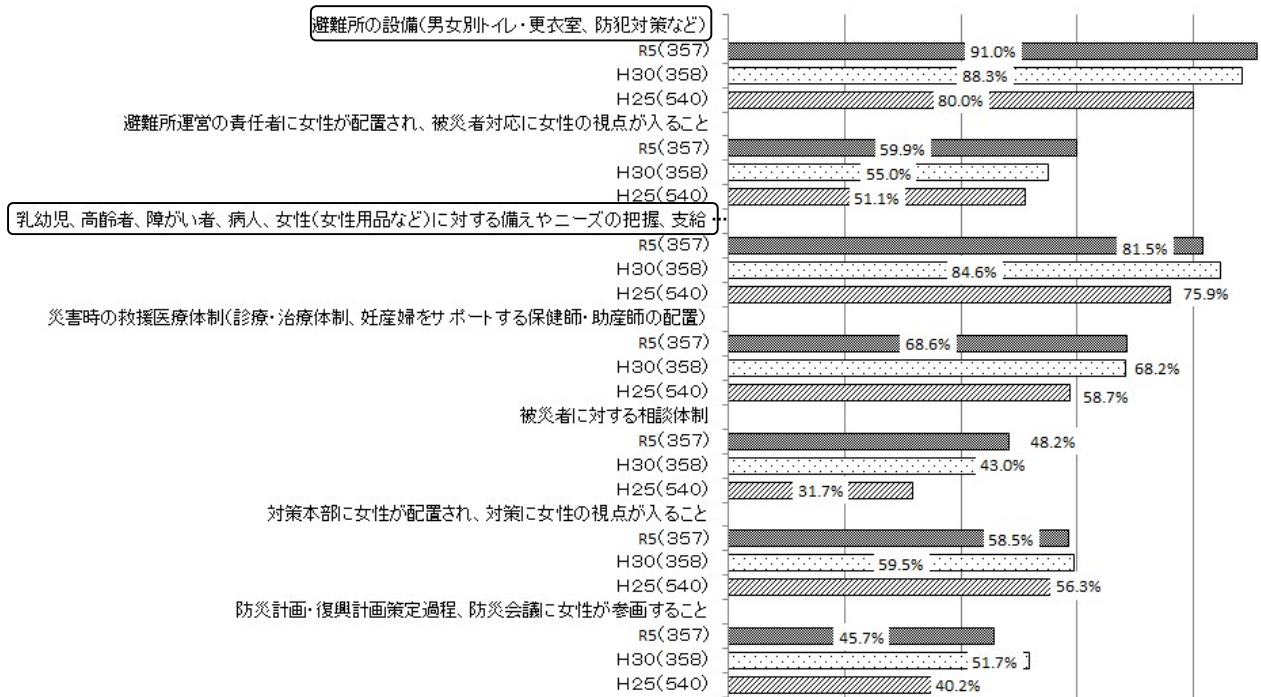


2位 男女が共に家庭的責任（家事・育児・介護）を負うという意識改革



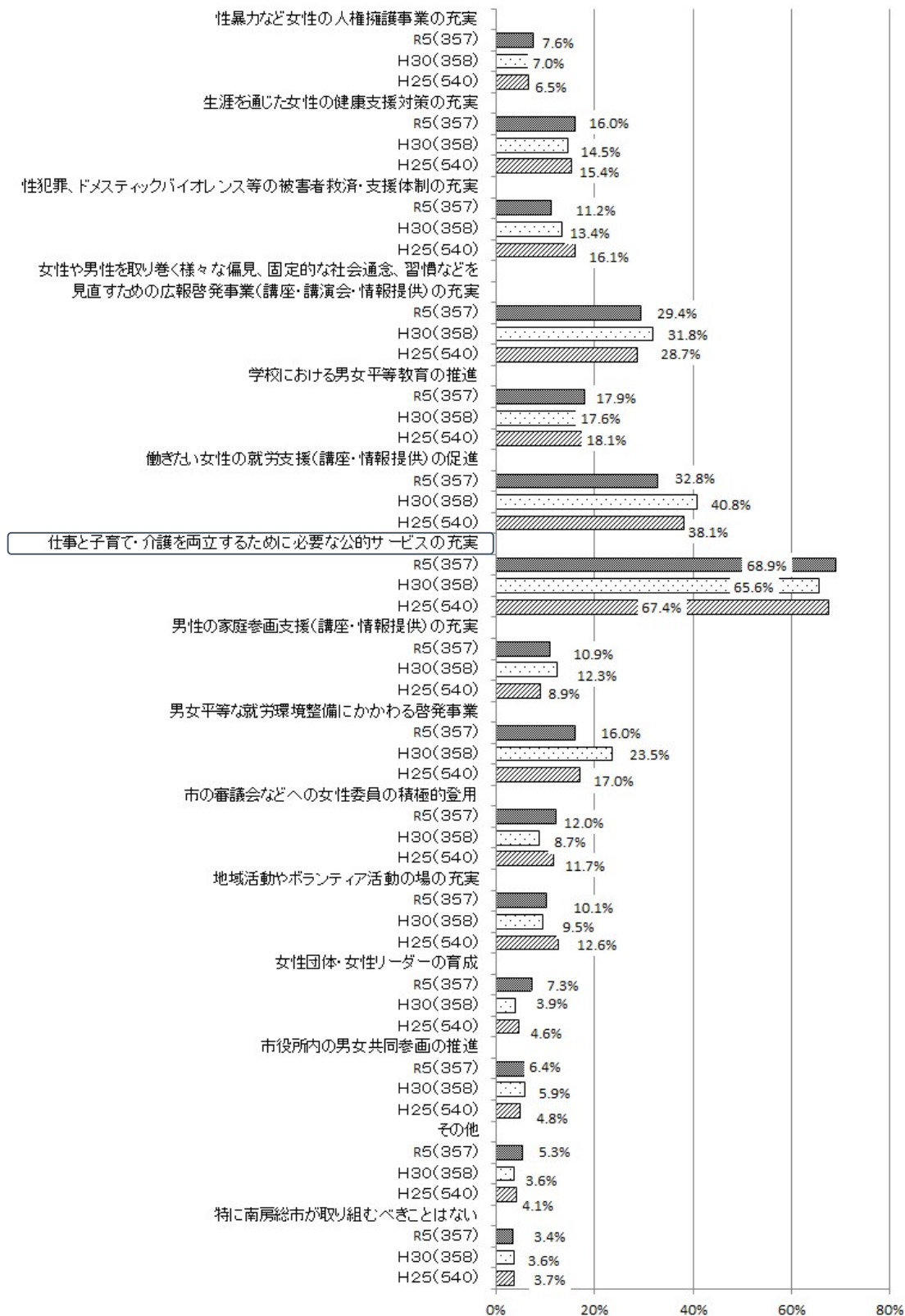
■ 防災・災害復興対策に関すること

問13. あなたが、防災・災害復興対策で、女性の視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。



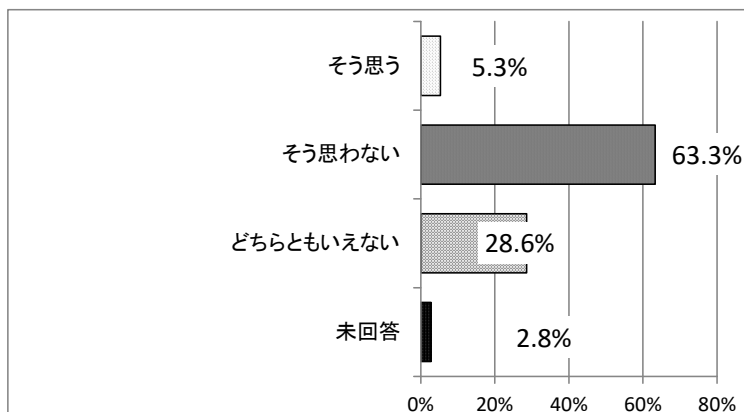
■ 南房総市の施策

問19. 男女共同参画社会の実現に向けて、南房総市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中から3つ選んで、番号に○をつけてください。



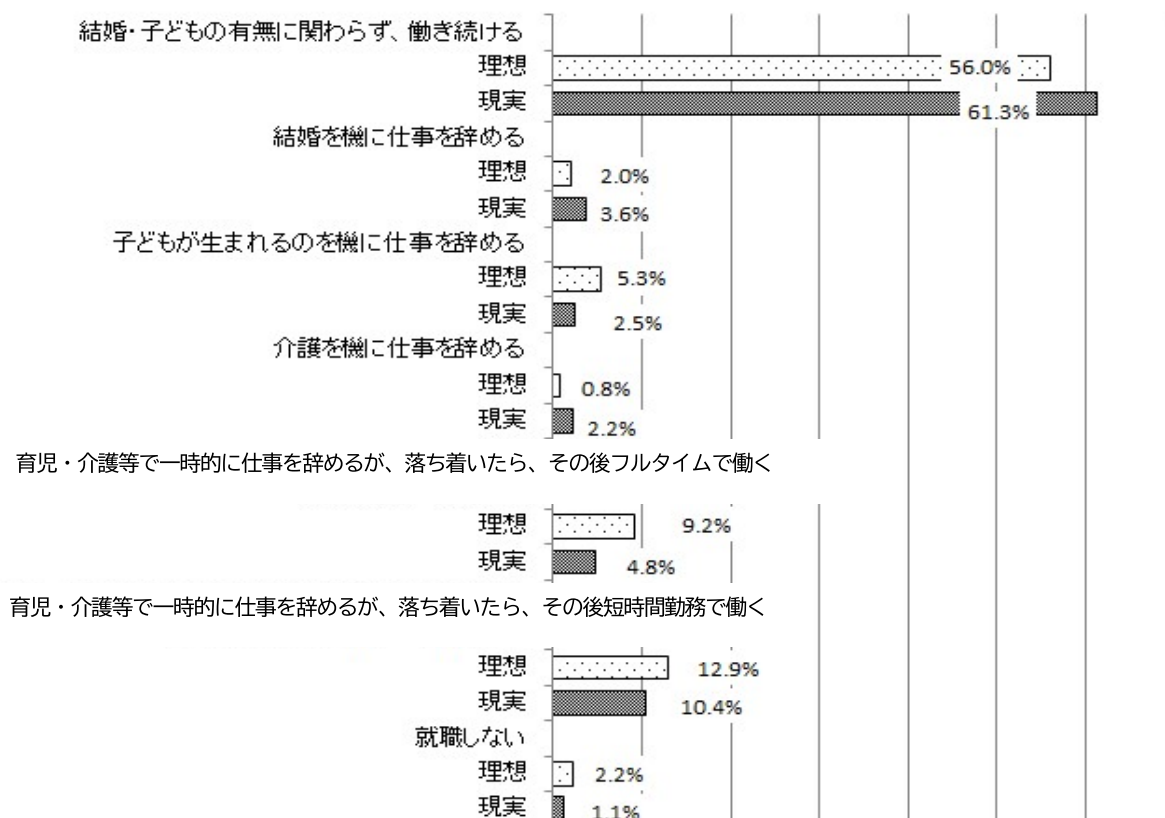
3. R5のみの調査結果

問7. 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中からひとつ選んでください。

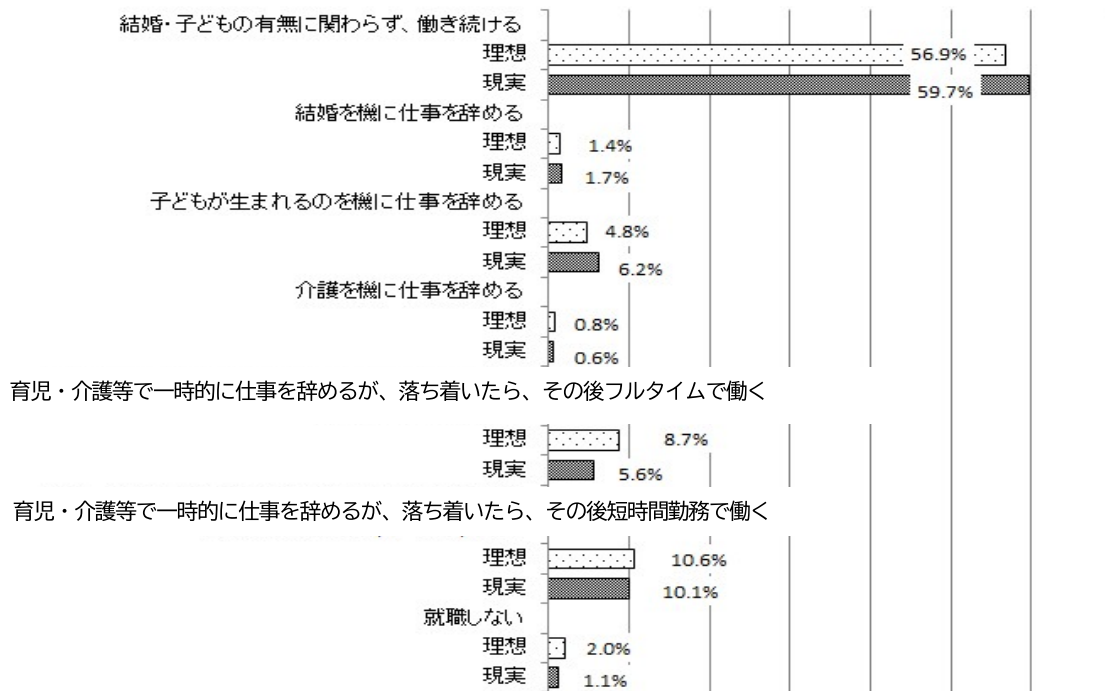


問8. あなたの働き方とあなたの配偶者（パートナー）に望む働き方について、理想と現実はどうですか。それぞれ、あなたの考え方に最も近いと思うものを、下記選択肢の中からひとつずつ選んでください。

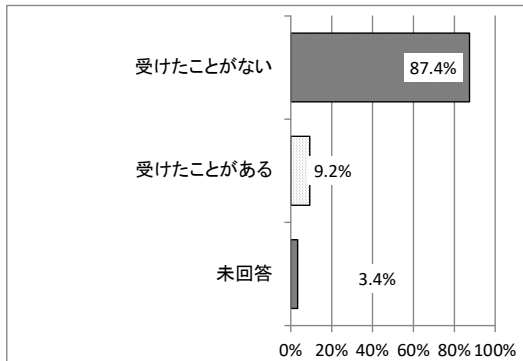
<自分の理想と現実>



<配偶者の理想と現実>



問10. あなたは、パートナー（配偶者や恋人等）から身体的暴行・心理的攻撃・性的強要・経済的圧迫などのDVを受けたことがありますか。



問11. あなたは、DVの相談窓口を知っていますか。

